

浜の活力再生プラン

1 地域水産業再生委員会

組織名	広島市地区地域水産業再生委員会
代表者名	波田 輝明

再生委員会の 構成員	井口漁業協同組合、広島市漁業協同組合、大河漁業協同組合、仁保漁業協同組合、海田市漁業協同組合、矢野漁業協同組合、広島市経済観光局農林水産部水産課、公益財団法人広島市農林水産振興センター水産部
オブザーバー	広島県

対象となる地 域の範囲及び 漁業の種類	広島市：小型底びき網漁業 16 名、刺網漁業 42 名、はえ縄漁業 10 名、釣り 143 名、採貝・たこつぼ・あなご筒等その他の漁業 60 名、わかめ養殖 16 名、のり類養殖 3 名、真珠養殖 1 名 ～計 291 名
---------------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>広島市では、波が穏やかで温暖な広島湾北部海域を中心に、かき養殖や、小型底びき網、刺網、釣りなどの海面漁業が営まれている。</p> <p>しかし、近年では、藻場・干潟等の消失に伴う自然の浄化能力の低下による底質の悪化や、水域の貧栄養化など、漁場環境が大きく変化し、水産資源も減少している。</p> <p>また、資源の減少に伴う漁獲量の減少、消費者の魚離れに伴う魚価の低迷、漁業資材の高騰などによって漁業経営は厳しい状況にあり、漁業者数は減少し高齢化も進んでいる。</p> <p>ア 海面漁業</p> <p>(ア) 漁ろう漁業</p> <p>底質の悪化、貧酸素水塊の発生、藻場や干潟の減少などにより漁場の生産力が低下し、漁獲量は減少している。また、漁業者数も減少し、高齢化が進んでいる。</p> <p>このため、人工魚礁などの設置や、効用の低下している沿岸漁場の堆積物を除去する海底清掃の実施により、漁場機能を回復するとともに、広島市水産振興センターで生産したガザミ、マコガレイ、オニオコゼ、アイナメなどの種苗や購入したアサリなどの種苗を放流し、水産資源の維持増大に努め、沿岸漁業の生産の増大と漁業経営の安定化を図っている。</p> <p>(イ) アサリ</p> <p>アサリの漁獲量は、全国的に減少しており、広島市においても、平成16年から平成26年の間に23tから6tと4分の1に減少している。</p>
--

原因としては、干潟の減少やヘドロの堆積、地盤の硬化など漁場環境の悪化による漁場生産力の低下、ナルトビエイなどによる食害が考えられる。

このため、種苗を購入し、放流を実施するとともに、資源回復のため保護ネットの設置や、干潟の保全活動に取り組んでいる。

(ウ) ナマコ

底質の貧酸素等による漁場環境の悪化や乱獲により、ナマコの漁獲量が減少している。

イ 養殖漁業

(ア) ワカメ養殖

干潟の減少や水質の悪化により衰退したノリ養殖に代わる養殖漁業として期待され、昭和57年から広島市水産振興センターでワカメの種苗を生産し、漁業者が養殖している。

しかしながら、近年では漁場の高水温による生育の遅れや、アイゴなどによる食害の被害がでている。

このため、温暖化に対応した種苗の確保や食害を防止するための対策が急務となっている。

さらに、ワカメのオーナー制に取り組み、ワカメの消費拡大に努めているが、市場以外の販売ルートの整備や塩蔵・乾燥など加工への取組が進んでおらず、販路の開拓が急務となっている。

(2) その他の関連する現状等

核家族化、肉食を中心とした食生活の普及など生活スタイルの変化に伴い、魚離れが進み、魚価の低迷が続いている。

3 活性化の取組方針

(1) 基本方針

ア 漁獲量の維持増大及び品質の向上

藻場・干潟等の消失により自然の浄化能力の低下による底質の悪化や、水域の貧栄養化など、漁場環境は大きく変化し、水産資源も減少している。このため、藻場の造成や海底耕うんなどを行うことで漁場環境を改善し、海の再生産機能を回復させることで、餌生物や魚介類を増加させ、種苗の放流効果の向上や漁獲される魚介類の品質の向上を図っていく。また、県内では生産されておらず、魚価が比較的高いマコガレイやアイナメ等の種苗生産の強化に取り組む。

漁場環境の改善と魚価の高い魚種の放流により、効果的に水産資源の維持増大を図り、漁業収入の増加に繋げていく。

イ 需要拡大による魚価の向上

魚の餌が多いかき筏の周辺で漁獲される魚は、味が良いと市場での評価が高い。このため、既に知名度の高いカキ、アナゴに加えて、カタクチイワシ、クロダイ、メバル、オニオコゼ、アサリの7種をまとめて「広島湾の七大海の幸」と銘打ち、ブランド化を図るとともに、行政、市場関係者、販売業者、漁業者による協議会を設置し、全国でも有数な観光地である利点を活かした特産品としてのPRなど、効果的・効率的なPRを進める。

その他の魚介類についても、マスコミ及びSNSの活用、市内の鮮魚店等と協力した魚食の良さのPR等に取り組み、消費拡大を図る。

これらの取組を通じて需要を拡大させ、魚価の上昇による収入増を図っていく。

ウ 収益の高い販売方法の実施

(ア) 毎日水揚げされる魚介類については、市場の入荷量によって魚価が大きく変動するため、多く漁獲される時期には、安い価格で取り引きされることが多い。

活魚のまま蓄養できる設備を整備することにより、時化の日など市場における入荷量が少なく魚価の向上が見込める日に合わせて出荷できるようにする。さらに、数量が少ないため安価で取り引きされる可能性が高い魚を蓄養しておき、定期的に朝市を開催して漁業者自らが販売し、収入の向上を図る。

また、同じ魚でもしめ方や保存方法により身質が大きく異なることから、上記協議会を活用し、市場関係者や販売業者からの意見を踏まえた価格向上のための出荷方法について検討・実施していく。

(イ) 生ワカメについては、ブランド化を図り、小分けパックにより販売することで価格の向上を図るとともに、産直市での販売など販路を拡大させることにより収入の向上を図る。

エ コスト削減の取組

全漁業者に対し、定期的な船底清掃、係留中の機関の停止及び漁場までの低速運行を実施することにより、燃油の使用量を削減に努めるよう啓発する。

(2) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

広島市が生産し、放流する魚種（ガザミ、マコガレイ、オニオコゼ、アイナメ）及び漁獲量が減少しているナマコについては、体長制限や抱卵親魚及び抱卵個体の保護等、漁業者自らが取り組む資源管理計画を策定し、持続可能な資源増大を図る。

※ 参考

平成27年度 水産振興センターでの種苗生産による放流 ガザミ、マコガレイ、オニオコゼ、アイナメ
購入による放流 ウナギ、アサリ

(3) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成29年度）

以下の取組により漁業所得を基準年対比2%向上させる。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>ア 漁獲量の維持増大及び品質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海底清掃、かき殻散布及び海底耕うんによる漁場環境の改善に取り組む。 ・ 魚価の高いガザミ、マコガレイ、オニオコゼ、アイナメなどの種苗を放流することにより、水産資源を維持増大し、漁獲量の増大を図る。 <p style="text-align: center;">※ 広島市水産振興センターでの種苗生産による放流 ガザミ、マコガレイ、オニオコゼ、アイナメ 購入による放流 ウナギ、ヨシエビ、アサリ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 放流種苗の生産数量や生産種の増大に対応できるよう、広島市水産振興センターの生産施設の再整備計画を立てる。 ・ アサリ資源の回復に向け、底質改善を行うなど干潟の保全に努めるとともに、種苗の放流を行う。また、食害防止のネットによるアサリ保護と、ネットによる天然稚貝の定着を促進する取組を行う。これらの取組により、漁獲量の増大を図る。 ・ 温暖化に対応したワカメの種苗の確保や食害を防止するための対策を検討する。 <p>イ 需要拡大による魚価の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島湾で獲れる魚介類の消費拡大により需要を増加させ、魚価の向上、出荷量の増大を図ることを目的として、広島湾周辺市町、市場関係者、漁業者で構成される「広島湾七大海の幸」普及推進実行委員会を設置し、PRや販売の方法を検討・実施する。 <p>ウ 収益の高い販売方法の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記委員会を活用し、市場関係者等からの意見を参考にした魚価向上のための出荷方法について検討する。 ・ ワカメのブランド化などへの取組や塩蔵・乾燥など加工への取組に努める。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>全漁業者に対し、定期的な船底清掃、係留中の機関の停止及び漁場までの低速運行を実施することにより、燃油の使用量を削減に努めるよう啓発する。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>水産環境整備事業</p>

2年目（平成30年度）

以下の取組により漁業所得を基準年対比4%向上させる。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>ア 漁獲量の維持増大及び品質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海底清掃、かき殻散布及び海底耕うんによる漁場環境の改善に取り組む。 ・ 魚価の高いガザミ、マコガレイ、オニオコゼ、アイナメなどの種苗を放流することにより、水産資源を維持増大し、漁獲量の増大を図る。 ・ 広島市水産振興センターにおいて、アマモ・ガラモ等の試験生産を行い、藻場の造成に取り組むとともに、資源が著しく減少しているナマコについても試験的に種苗生産を行う。 ・ 放流種苗の生産数量や生産種の増大に対応するため、広島市水産振興センターの生産施設を整備する。 ・ 底質改善を行うなど干潟の保全に努めるとともに、アサリ資源の回復に向け、種苗の放流を行う。また、食害防止のネットによるアサリ保護と、ネットによる天然稚貝の定着を促進する取組みに努める。これらの取組により、漁獲量の増大を図る。 ・ 温暖化に対応したワカメの種苗の確保や食害を防止するための対策を検討する。 <p>イ 需要拡大による魚価の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「広島湾七大海の幸」普及推進実行委員会において、広島湾産魚介類のPRや販売の方法を検討・実施することにより、消費拡大を図る。また、市内で開催されるイベントでのPR等を実施する。 <p>ウ 収益の高い販売方法の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高品質な魚介類を安定的に市場等に提供できるようにするため、蓄養施設を整備するとともに、出荷方法を検討する。 ・ ワカメのブランド化による販路拡大への取組や、塩蔵・乾燥など加工への取組に努める。 ・ 市場関係者等からの意見を参考にした魚のしめ方や保管方法など、魚価向上に向けた出荷方法を実施する。 <p>さらに、販路の開拓のため、販売所などの整備を行う。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>全漁業者に対し、定期的な船底清掃、係留中の機関の停止及び漁場までの低速運行を実施することにより、燃油の使用量を削減に努めるよう啓発する。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>浜の活力再生交付金、水産環境整備事業、水産多面的機能発揮対策事業</p>

3年目（平成31年度）

以下の取組により漁業所得を基準年対比6%向上させる。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>ア 漁獲量の維持増大及び品質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海底清掃、かき殻散布及び海底耕うんによる漁場環境の改善に取り組む。 ・ 魚価の高い種苗を生産、又は購入し放流することにより、水産資源を維持増大し、漁獲量の増大を図る。 ・ 広島市水産振興センターにおいて、アマモ・ガラモ等の試験生産を行い、藻場の造成に取り組むとともに、資源が著しく減少しているナマコについても試験的に種苗生産を行う。 ・ 放流種苗の生産数量や生産種の増大に対応するため、広島市水産振興センターの生産施設を整備する。 ・ アサリ資源の回復に向け、底質改善を行うなど干潟の保全に努めるとともに、種苗の放流を行う。また、食害防止のネットによるアサリ保護と、ネットによる天然稚貝の定着を促進する取組みに努める。これらの取組により、漁獲量の増大を図る。 ・ 温暖化に対応したワカメの種苗の確保や食害を防止するための対策を検討する。 <p>イ 需要拡大による魚価の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「広島湾七大海の幸」普及推進実行委員会において、PRや販売の方法を検討・実施することにより、消費拡大を図る。また、市内で開催されるイベントでのPR等を実施する。 <p>ウ 収益の高い販売方法の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蓄養施設を活用し、荷の少ない日に出荷するなど、魚価の向上を図るとともに、定期的に朝市において販売する。 ・ ワカメのブランド化による、販路拡大への取組や塩蔵・乾燥など加工への取組に努める。 ・ 市場関係者等からの意見を参考にした魚のしめ方や保管方法など魚価向上に向けた出荷方法を実施する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>全漁業者に対し、定期的な船底清掃、係留中の機関の停止及び漁場までの低速運行を実施することにより、燃油の使用量を削減に努めるよう啓発する。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>浜の活力再生交付金、水産環境整備事業、水産多面的機能発揮対策事業</p>

4年目（平成32年度）

以下の取組により漁業所得を基準年対比8%向上させる。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>ア 漁獲量の維持増大及び品質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海底清掃、かき殻散布及び海底耕うんによる漁場環境の改善に取り組む。 ・ ナマコを含む魚価の高い種苗を生産、又は購入し放流することにより、水産資源を維持増大し、漁獲量の増大を図る。 ・ 広島市水産振興センターにおいて、アマモ・ガラモ等の生産を行い、藻場の造成に取り組む。 ・ アサリ資源の回復に向け、底質改善を行うなど干潟の保全に努めるとともに、種苗の放流を行う。また、食害防止のネットによるアサリ保護と、ネットによる天然稚貝の定着を促進する取組みに努める。これらの取組により、漁獲量の増大を図る。 ・ 温暖化に対応したワカメの種苗の確保や食害を防止するための対策を検討する。 <p>イ 需要拡大による魚価の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「広島湾七大海の幸」普及推進実行委員会において、PRや販売の方法を検討・実施することにより、消費拡大を図る。また、市内で開催されるイベントでのPR等を実施する。 <p>ウ 収益の高い販売方法の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蓄養施設を活用し、荷の少ない日に出荷するなど、魚価の向上を図るとともに、定期的に朝市において販売する。 ・ ワカメのブランド化による、販路拡大への取組や塩蔵・乾燥など加工への取組に努める。 ・ 市場関係者等からの意見を参考にした魚のしめ方や保管方法など魚価向上に向けた出荷方法を実施する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>全漁業者に対し、定期的な船底清掃、係留中の機関の停止及び漁場までの低速運行を実施することにより、燃油の使用量を削減に努めるよう啓発する。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>浜の活力再生交付金、水産環境整備事業、水産多面的機能発揮対策事業</p>

5年目（平成33年度）

以下の取組により漁業所得を基準年対比10%向上させる。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>ア 漁獲量の維持増大及び品質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海底清掃、かき殻散布及び海底耕うんによる漁場環境の改善に取り組む。 ・ ナマコを含む魚価の高い種苗を生産、又は購入し放流することにより、水産資源を維持増大し、漁獲量の増大を図る。 ・ 広島市水産振興センターにおいて、アマモ・ガラモ等の生産を行い、藻場の造成に取り組む。 ・ アサリ資源の回復に向け、底質改善を行うなど干潟の保全に努めるとともに、種苗の放流を行う。また、食害防止のネットによるアサリ保護と、ネットによる天然稚貝の定着を促進する取組みに努める。これらの取組により、漁獲量の増大を図る。 ・ 温暖化に対応したワカメの種苗の確保や食害を防止するための対策を検討する。 <p>イ 需要拡大による魚価の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島湾七大海の幸PR事業として、広島湾周辺市町、市場関係者、漁業者で構成される「広島湾七大海の幸」普及推進実行委員会において、PRや販売の方法を検討・実施することにより、消費拡大を図る。また、市内で開催されるイベントでのPR等を実施する。 <p>ウ 収益の高い販売方法の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蓄養施設を活用し、荷の少ない日に出荷するなど、魚価の向上を図るとともに、定期的に朝市において販売する。 ・ ワカメのブランド化による、販路拡大への取組や塩蔵・乾燥など加工への取組に努める。 ・ 市場関係者等からの意見を参考にした魚のしめ方や保管方法など、魚価向上に向けた出荷方法を実施する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>全漁業者に対し、定期的な船底清掃、係留中の機関の停止及び漁場までの低速運行を実施することにより、燃油の使用量を削減に努めるよう啓発する。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>浜の活力再生交付金、水産環境整備事業、水産多面的機能発揮対策事業</p>

(4) 関係機関との連携

各種取組みについて、行政（広島県）、系統団体（広島県漁連、一般社団法人広島県栽培漁業協会）、地域団体（広島市漁業振興協議会）と連携するとともに、異業種との連携にも注力する。

4 目標

(1) 数値目標

漁業所得の向上 %	基準年	平成	年度：漁業所得	千円
	目標年	平成	年度：漁業所得	千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
浜の活力再生交付金	広島市水産振興センターの種苗生産施設の整備 蓄養施設の整備 漁業者が行う直売所の整備
水産基盤整備事業	種苗放流に対応した漁場環境の整備
未定	海底耕うんを行うための機械の導入 かき殻散布及び海底耕うんの実施
水産環境整備事業	海底清掃の実施
水産多面的機能発揮対策事業	藻場・干潟等の保全活動